

このたびは、バッテリーチェッカーSK-8551をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。 本製品の十分な活用と安全なご使用のために、取扱説明書はいつも手元におき、よくお読み いただいたうえでご使用ください。

もくじ

安全上のご注意
使用上のご注意
製品の特長
構成部品一覧表6~7
本体各部の名称と働き8~10
仕様
1. 一般仕様
2. 測定什様
ご使用になる前に
1. 用語解説
2. 日付/時間、表示言語の設定13
バッテリーテスト
システムテスト
プリントアウト
ヘッダー/フッター作成機能
1. ヘッダー/フッター追加アプリ
ケーションのダウンロード31~33
2. 定型画像のダウンロード34~35
3. ヘッダー/フッターの登録36~37
4. ヘッダー/フッター設定38~39
5. テスト結果別フッター設定40
お気に入り登録機能
1. お気に入り登録41
2. お気に入りリストから選択42
3. お気に入りメニュー43
PC接続44~45

メニュー
1. データ保存46~48
2. 保存データの表示49
3. 保存データの削除50
4. テスト回数履歴表示51
5. 日付/時間の設定52
6. 言語設定
7. コントラスト設定
8. 温度入力設定
9. CCA規格値印字設定
保守管理
1. プリンター用紙のセット55~56
2. プリンターヘッドのクリーニング…57
3. バッテリーケーブルの交換58
4. リムーバブルディスクの初期化59
5. DMPフォルダ60
6. 定期的点検・校正60
7. その他60
故障かな?という場合に 61~62

品質保証書……64

ホームページのご案内

- 1. SK-8551製品情報ページ ……65
- 2. SK-8551ユーザー専用ページ ……65
- 3. バージョンアップ情報 ……65
- 4. ユーザー登録………65

安全上のご注意(必ずお守りください。)

取扱説明書には、お使いになる人や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、 安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。 次の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項を お守りください。

■表示内容を無視して、誤った使い方をしたときにおよぼす危害や損害の程度を 次の絵表示で区分し、説明しています。

この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」 ⚠ 警告 内容です。 この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または ▲ 注意 物的損害の発生が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し説明しています。 (下記は絵表示の一例です。)



安全上のご注意(必ずお守りください。)

▲ 警告	
よく換気した場所で使用する バッテリー周辺に滞留した水素ガスなどが、バッテリークリップを接続する際の 火花で引火・爆発する恐れがあります。	0
ギアがパーキング(MT車の場合ニュートラル)になっていることを確認する 測定中に車が動いてしまい、事故や感電、火災、本製品や自動車の故障、破損の 原因となります。	0
サイドブレーキが確実に引かれていることを確認する 測定中に車が動いてしまい、事故や感電、火災、本製品や自動車の故障、破損の 原因となります。	
小さいお子様の手の届かない場所で使用、保管する 事故やけが、感電の原因となります。	
手やバッテリークリップなどがぬれた状態で本製品を使用しない 事故や感電、火災、本製品や自動車の故障、破損の原因となります。	\bigcirc
ガソリン・オイルなど可燃物の周辺や法令で第一類・第二類危険箇所に 指定されている場所では使用しない 火災や引火・爆発する原因となります。	\bigcirc
バッテリー液が不足した状態で使用しない バッテリーの燃焼や爆発の原因となります。	\bigcirc
本製品を接続した状態で車を走行させない 事故や感電、火災、本製品や自動車の故障、破損の原因となります。	\bigcirc
暗い場所で作業を行わない 事故や感電、火災、本製品や自動車の故障、破損の原因となります。	\bigcirc
ぬらしたりしない 火災や感電の原因となります。	X
故障のまま使用しない 画面が表示されない、スイッチが操作できないなどの故障の状態でご使用しないで ください。すぐにご使用を中止してお買上げの販売店にご相談ください。 そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。	\bigcirc
USB端子を指で触れたり異物を入れない 事故や感電、火災、本製品の故障、破損の原因となります。	\bigcirc
直射日光があたる場所や高温になる場所に置いたり、炎天下の車室内に放置 しない 火災や感電、故障などの原因となります。	\bigcirc
整備の際、排気部などのエンジンの高温部分に触れないように注意する やけどの原因となります。	

警告 整備の際、手や手袋、衣服などが、エンジンのベルトなどの回転部分に巻き 込まれないように注意する けがの原因となります。 異常のまま使用しない 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするときは、すぐにご使用を中止してください。 また、お買上げの販売店にご連絡ください。 そのまま使用すると事故、火災、感雷の原因となります。 分解や改造はしない 火災や感雷、故障などの原因となります。 ケーブルの被覆が破れた状態で使用しない 火災や感電の原因となります。 ▲ 注意 バッテリー液が目に入ったり、皮膚や服に付着しないように注意する /!\ 失明やけがの原因となります。目に入った場合は、ただちに水でよく洗い流し、 医師の診断を受けてください。 バッテリークリップで指などを挟まないように注意する けがの原因となります。 本体やケーブルが、エンジンのベルトなどの回転部分に巻き込まれないように 注意する ショートや断線により、事故や感雷、火災、本製品や自動車の故障、破損の原因となります。 本体やケーブル類が、排気部などのエンジンの高温部分に触れないように注意する 事故、本製品や自動車の故障、破損の原因となります。 バッテリー端子の⊕⊖をよく確認して正しく接続する 逆接続すると、本製品の故障の原因となります。 自動車搭載バッテリーをテストする時は、エンジンを停止し、ライトなどの 電装品を消してから行う けがや本製品の故障の原因となります。 本製品を長時間使用しない場合は車両から取り外す 車両バッテリーの消耗および発火の原因となります。 本体画面表示部をたたいたり、強く押したり傷をつけたりしない 画面表示部の故障、破損の原因となります。 付属品以外のUSBケーブルは使用しない

本製品やPCの故障の原因となります。

使用上のご注意

- ●バッテリークリップの金属部分、USB端子にエンジンオイルなどを付着させないでください。 接触不良の原因となります。
- ●エンジンオイル、ガソリン、不凍液およびバッテリー液を本体に付着させないでください。 本体表面の変質の原因となります。
- ●アルコールを含む液体で本製品をふかないでください。割れの原因となります。
- ●気温-10℃~50℃、湿度80%以下の環境でご使用ください。正確な測定ができません。
- ●ケーブルの被覆が破れた場合はショートのおそれがありますので、使用を中止して新しい バッテリーケーブルに交換してください。
- ●テスト終了後はバッテリークリップをバッテリー端子から外してください。本製品の故障や バッテリー上がりの原因となります。
- ●プリンター内部を指で触れないでください。故障の原因となります。
- ●プリンターレバー、プリンターカバーに無理な力を加えないでください。故障および破損の原因となります。
- ●本体内に日付/時間設定のバックアップ用電池が内蔵されています。この内蔵バックアップ 電池は消耗品となります。日付/時間設定を行っても、設定が保存されない場合は内蔵 バックアップ電池が消耗していますので、販売店またはカイセ株式会社に修理依頼して ください。
- ●保管の際は、本体をキャリングケースに入れて保管してください。プリンター内部に塵や ほこり等が入り込み、故障の原因となります。
- ●バッテリーケーブルは本体の奥までしっかりと差し込み、ネジを固定した状態で使用して ください。接触不良の場合、正確な測定ができません。
- ●バッテリーケーブルと本体接続部分のプラグや端子を汚さないでください。接触不良の場合、正確な測定ができません。
- ●バッテリーケーブルを本体に対して逆向きに接続しないでください。本体およびケーブル 故障の原因となります。
- ●バッテリーケーブルと本体を固定する際、ネジを強く締めすぎないでください。本体側の 固定部やネジ山が破損し、固定できなくなります。
- ●当社純正のプリンター用紙(部品番号:851)を使用してください。印字不良や故障の原因 となります。

取り扱いについて

●衝撃を与えないでください。

本製品を落下、たたくなどして衝撃を与えると故障の原因となります。

●ケーブルを無理に引っ張らないでください。 バッテリークリップやUSBケーブルを外す 際など、ケーブルを無理に引っ張ると断線 など故障の原因となります。 保管場所について

- ●下記の場所には保管しないでください。
 - ・ホコリの多い場所
 - ・水のかかるところ
 - ・強い衝撃が加わるところ
 - ・気温-20℃以下60℃以上、湿度70%以上のところ
 - ・結露のあるところ
 - ・直射日光のあたるところ

製品の特長

■本製品はバッテリーの充電量(SOC)、 健全性(SOH)、エンジン始動能力、 充電システムをテストする、バッテリー 診断機です。



■ヘッダー/フッター作成機能を搭載し、 プリンター出力紙の上下に印字可能。 ※PCとインターネットの環境が必要です。



■頻繁に使用する車両のバッテリー形式を 本体に"お気に入り"として登録可能。 バッテリー形式を選択する際は、スイッチ ひとつでお気に入りリストから迅速に選 択できます。

(輸入車用バッテリーおよび産業用バッ テリーの入力規格値も登録可能。)

- ■充電制御車/アイドリングストップ車用 バッテリー診断に対応。より正確な測定 が可能です。
- ■ハイブリッド車用補機バッテリーの診断 に対応。
- ■未使用バッテリー診断モードを搭載し、 店頭新品在庫の管理に有効です。
- ■着脱式のバッテリーケーブルで、消耗した バッテリーケーブルを簡単に交換可能。
- プリンターを搭載し、診断結果を迅速 にプリントアウト。診断結果は日本語で わかりやすく記載。(英語に切り換え可)



- ■テストレポートや保存データ(PC接続 テキストデータ)に、任意の情報を入力 可能。車両情報や顧客情報の管理に活用 できます。
- ■付属のUSBケーブルでPCと接続し、ソフト ウェアのバージョンアップが行えます(※)。 ※PCとインターネットの環境が必要です。

構成部品一覧表(ご使用前にご確認ください。)

本製品には、下記のものが同梱されています。ご使用の前にご確認ください。 万一、不足している場合や破損している場合は、すぐに販売店にご連絡ください。

①バッテリーチェッカー本体…1台②800 バッテリーケーブル…1本 (本体装着済)

④934 USBケーブル…1本





⑤1032 キャリングケース…1個



⑥取扱説明書(保証書付)…1冊



⑦テクニカルガイドブック…1冊



③プリンター用紙(試供用)…2本 (1本は本体内格納済)



構成部品一覧表(ご使用前にご確認ください。)



※本体内に日付/時間設定のバックアップ用電池が内蔵されています。この内蔵バックアップ 電池は消耗品となります。日付/時間設定を行っても、設定が保存されない場合は内蔵 バックアップ電池が消耗していますので、販売店またはカイセ株式会社に修理依頼して ください。

※製品の品質保持のため、右図の乾燥剤が同梱されています。お手数ですが 廃棄してください。



本体各部の名称と働き

■本体前面



本体各部の名称と働き

①バッテリークリップ(赤・黒):

- バッテリーの(+)端子に赤、(-)端子に黒をクリップします。
 ②プリンター:
- テスト結果およびテスト回数履歴のプリント、テストプリントをします。
 ③LEDランプ:
- GOOD(緑):
 診断結果が良好および良好/要充電のときに点灯します。
- CHARGE(黄):
 診断結果が良好/要充電および要充電/再テストのときに点灯します。
- BAD (赤): 診断結果が交換および不良のときに点灯、要注意および始動能力低下のときに点滅します。
- ④表示板(LCD)
- ⑤USB端子:
- ●PCと接続する際に、USBケーブルを差し込みます。
- ⑥△(上スクロール)キー:
- ●選択項目を上にスクロール、数値の入力に使用します。
- ●メニュー画面を表示します。
- ⑧▽(下スクロール)キー:
- ●選択項目を下にスクロール、数値の入力に使用します。
- ⑨ ┩(決定) キー:
- ●選択項目の決定に使用します。
- ⑩ ጏ(戻る)キー:
- ●前画面に戻る際に使用します。
- ①★FAVORITS (お気に入り)キー:
- お気に入り登録する際、および登録したお気に入りリストの表示に使用します。
 12 国PRINT(プリント)キー:

テスト結果およびテスト回数履歴のプリント、テストプリントする際に使用します。
 ③ケーブルコネクター:

新しいバッテリーケーブルに交換する際、このコネクターを抜き差しします。

14バッテリーケーブル:

バッテリークリップと本体をつなぐケーブル。

本体各部の名称と働き

▲ 注意



●バッテリークリップをホルダーに固定する際、金属部分で挟むと、 クリップの故障およびホルダーの損傷の原因となります。

1. 一般仕様

1. 表示部	LCD(ド小表示:128×64ドット)
2. 表示·印字言語	日本語、英語(初期設定:日本語)
3. LCD電圧測定値表示間隔	1回/秒
4. LED表示	緑色:診断結果が良好および良好/要充電のときに点灯
	黄色:診断結果が良好/要充電および要充電/再テストのときに点灯
	赤色:診断結果が交換および不良のときに点灯、要注意・始動能力低下
	のときに点滅
5. 印刷	内蔵プリンター
6. バッテリーケーブル長	約70cm (クリップ、ブッシュ含まず)
7. 電源	テストバッテリー (DC8~32V)、USB-miniBコネクタ (DC5V)
8. 測定バッテリー種類	12V鉛バッテリー全般
	※24Vバッテリーはエンジン始動能力、チャージングシステムテストのみ対応
9. 測定バッテリー規格	JIS / SBA / EN (DIN) / SAE (BCI) ※CCA入力、産業用の選択可
10. 測定バッテリー範囲	100~1400CCA、産業用:1.0mΩ~50.0mΩ
11. 測定項目	12Vバッテリーテスト、12V&24V始動/充電システムテスト
12. 温度係数 (電圧測定)	23℃±5℃以外の時、測定確度×0.01/℃を測定確度に加算
13. データ保存	本体メモリーにテスト結果を最大359件保存可能
	※USB接続でPCヘデータの移動が可能
14. バージョンアップ	USBケーブルでPCと接続してバージョンアップ可能
15. 使用温度·湿度	-10~50℃、80%rh以下(ただし結露のないこと)
16. 保存温度·湿度	-20~60℃、70%rh以下(ただし結露のないこと)
17.安全基準	CEマーク認証 EN61326-1
18. 寸法	248mm (H) ×96mm (W) ×55mm (D) ※ケーブル、ブッシュ含まず
19. 質量	約670g ※プリンター用紙含まず

※製品仕様および外観は予告なく変更することがあります。

2. 測定仕様 (23℃±5℃、80%rh以下、ただし結露のないこと)

バッテリー電圧測定

レンジ	測定確度	分解能	最大許容入力
16.000V	(8V~16V) ±0.15%±3dgt	4 14	
32.000V	(16V~32V) ±0.15%±3dgt	/) ±0.15%±3dgt 1mV	
	•		

※測定レンジを超えた入力の場合: Over voltage表示

温度測定

レンジ	測定確度	分解能	最大許容入力
-20℃~60℃	±3℃	1°C	-20℃~60℃

※測定確度は一定温度にて1時間以上放置後の確度

ご使用になる前に

1. 用語解説

●CCAとは?

CCAとは、コールドクランキングアンペアー (Cold Cranking Ampere)の略称です。

これはJIS規格の場合、バッテリー温度が-18℃の状態でバッテリーを放電させ、30秒後のバッテリー電圧が7.2V以上となる放電電流A(アンペア)。EN規格の場合、バッテリー温度が-18℃の状態でバッテリーを放電させ、10秒後のバッテリー電圧が7.5V以上となる放電電流A(アンペア)と定義されています。

CCAの値が大きいバッテリーほどエンジンを始動させる能力が高く、エンジンの排気量や 種類、使用環境によって必要とされるCCA値のバッテリーを選択します。

SAE, BCIはJISと同じCCA定義、SBA, DINはENと同じCCA定義となっています。(下記表を参

各種規格のCCA定義

規格	CCA定義	規格の主な使用国
JIS		日本
SAE	ハッフリー温度か-18 Cの状態で成电、 30秒後の電圧が72V以上とたろ放電電流Δ	アメリカ
BCI		アメリカ
SBA S0102	バッテリー温度が-18℃の状態で放電、 10秒後の雪圧が75/U/Lトとたる故雪雪落へ	日本
EN		EU
DIN(2000年EN規格導入後)	1012 区の电圧な 1.50 次上となる 灰电电加入	ドイツ

※旧DIN規格は仕様対象外です。

●SOH (State of Health)とは?

測定バッテリーの健康状態のことで、状態は数値(%)で表されます。

本製品におけるSOHの定義:

本製品はSOH30%をバッテリーの要交換しきい値として定義しています。SOHが30%以下になり、 SOCの判定結果が「要充電/再テスト」でなかった場合、測定バッテリーの判定結果は、「交換」と 判定します。

※SOH%はCCA規格値とCCA測定値の比で求められます。

※SOH%は測定バッテリーの劣化状態と充電状態により変動します。

●SOC (State of Charge) とは?

測定バッテリーの充電状態のことで、状態は数値(%)で表されます。

本製品におけるSOCの定義:

本製品は産業用バッテリー以外で12.756V以上、産業用バッテリーで13.056V以上のときに充電状態 100%と定義しています。

※エンジン停止直後、充電直後のバッテリー電圧は、測定バッテリーに実際に充電されている容量 を示していません。測定前に指定の手順に従って、バッテリーを本来の充電状態にしてから測定 をしてください。

ご使用になる前に

●リップル電圧とは?

オルタネーターで発電した電圧を、ダイオードで整流した際に残る、充電電圧の微少な変化 のことです。ダイオードが破損すると、リップル電圧が増大し、バッテリーや車載機器に悪影響 をおよぼします。

2.日付/時間、表示言語の設定

●ご使用になる前に日付/時間の設定を行ってください。(P52 "5.日付/時間の設定"参照) ●表示言語は初期設定で日本語となっておりますが、英語表示に変更することも可能です。 (P53 "6.言語設定"参照)

本製品の各種設定は、製造出荷時の設定になっています。

●バッテリーテストを行った際、テストを行っているバッテリーが極度の 劣化状態で、本体を動作させるための電流が取り出せなくなった場合、 本体が再起動します。

- ●バッテリーの充電中は正確な測定ができません。車載の場合は、必ず エンジン停止の状態で測定してください。
- ●24V車のバッテリーテストを行う場合、直列に接続されている12V バッテリーを、それぞれ単体で測定してください。
- ●車載バッテリーをテストする場合、イグニッションキーおよびバッテリー の負荷となる電装品の電源をOFFにし、車のドアをロックして、駐車 した状態にして測定してください。正確な測定ができません。
- ●同一バッテリーで連続してテストを行ったり、プリント動作を行った 後のテストでは、測定結果が多少変化する場合があります。また、 弱っているバッテリーでプリント動作を行ったあとのテストでは、判定 結果が変化する場合があります。
- ●同一バッテリーのテストにおいても、バッテリーの使用状態、保管 環境の変化により、測定結果、判定結果が変化する場合があります。

▲注意 ●エンジン停止直後のテストの場合は、充電電圧の影響により、バッテリー

バッテリーテスト

電圧はバッテリーに蓄えられている充電量を示していません。テスト を行う場合はまず、エンジン停止の状態でヘッドライトを約20秒間ON (全灯)にします。その後、OFFにしてからテストを行う準備をし、3分 以上バッテリーを休めてからテストを行ってください。

ヘッドライトをONすることで、テスト結果が「要充電/再テスト」と なってしまう場合は、再充電後にONにする時間を短くし、バッテリー を休ませる時間を長くしてください。

上記の作業を行わない場合および、バッテリー単体の充電後のテスト の場合は、2時間以上バッテリーを休めてからテストを行ってください。

●本製品は鉛バッテリーの基本的な用途、電気を蓄える、電気を取り出す を評価し判定を行っています。バッテリーの判定結果は車両側の特殊 な制御機能が使用出来る・出来ないを判別できるものではありません。 アイドリングストップバッテリーなど、特殊な使用のされかたをする バッテリーは、使用の過程により充電受け入れ性能等が低下し、アイ ドリングストップ機能等が働かなくなります。その場合は整備要領書等 でシステムの内容をご確認ください。(成層化現象)

●本製品で表示される最大CCA値は、1400CCAまでです。

テスト準備

- ●バッテリー端子にバッテリークリップを取り付ける前に、目視にてバッテリーの点検を 行ってください。
- ●バッテリーのターミナルに腐食・亀裂が発生しているものは、ターミナルを交換してください。
- ●バッテリー端子とターミナルの接続に緩みがある場合は、しっかりと接続し直してください。
- ●バッテリー端子およびバッテリークリップを取り付ける部分に汚れがある場合は、汚れ をワイヤーブラシやウエスできれいに取り除いてください。
- ●バッテリーケースの破損や変形、バッテリー端子が折れているバッテリーは危険なので 即交換してください。
- ●バッテリーの電解液面がLOWER付近まで低下しているバッテリーは精製水の補水を行い、 補充電をしてください。
- ●バッテリーの電解液面がLOWER以下の状態で、電解液が変色しているバッテリーは交換 してください。
- ●バッテリーケーブルおよびクリップに異常が無いか、目視点検を行ってください。

バッテリーの充電量(SOC)、健全性(SOH) をテストします。

- バッテリーのプラス⊕端子にバッテリークリップ(赤)、マイナス⊖端子にバッテリークリップ(黒)をしっかり取り付けます。
 必ずクリップ両極の鋸歯部が端子に接触するように取り付けてください。
 直接バッテリーの端子へ取り付けるのが通常ですが、できない場合は端子から可能な限り 近い箇所へしっかり取り付けてください。
- ※この場合、測定されたCCA値が実際の値 よりも低く表示される可能性があります。



●バッテリー端子へのクリップ接続がしっかり行われていないと、正確 な測定ができません。

●必ずクリップ両極の鋸歯部がバッテリー端子へ接続されるようにして ください。片側が絶縁されていたりすると正常な測定ができません。

▲注意 ●テストバッテリーの端子およびバッテリークリップの金属部分に汚れ がある場合は、ワイヤーブラシやウエスできれいに汚れを取り除いて からテストを行ってください。端子および金属部分が汚れた状態で テストを行うと、正確な測定ができません。

②本体の電源が自動でONになり、下記の画面が表示され③のテスト選択画面が表示され ます。



- ※画面に Disk Error... と表示された場合は、P59 "4.リムーバブルディスクの初期化" を実行 してください。
- ※右記の画面が表示された場合は、P59 "4.リムー バブルディスクの初期化"を実行してください。

Disk Error

Problem was found on removable disk. Please format disk.

③右記のテスト選択画面が表示されますので、
 バッテリーテストを選択し、決定します。
 ※画面には接続バッテリーの電圧値が表示されます。

★FAVORITS(お気に入り)キーを押すと P42のお気に入りリスト画面が表示されます。

● **MENU** (メニュー) キー:

メニュー画面へ移行(P46参照)



接続バッテリーの電圧値

- ④バッテリー規格を選択します。接続している バッテリーの規格を選択し、決定します。
- ※バッテリーリストには、JIS規格、SBA規格などのバッテリー形式が、リスト選択できるように あらかじめ登録されています。
- ※接続バッテリーの電圧値が13.3Vを超えた場合、 警告が表示されバッテリーテストが行えません。 (産業用の場合は13.6V)



- ※接続バッテリーの電圧値が16Vを超えた場合、過電圧の警告が表示されます。
- ※産業用バッテリー、ゴルフカートバッテリー、レジャーボートバッテリー、ディープサイクル バッテリーをテストする際は、バッテリーにCCA値が記載されている場合はCCA入力、記載 されていない場合は産業用を選択してください。
- ⑤テスト方式を選択します。

車両が充電制御車/アイドリングストップ車、 または測定バッテリーが充電制御車対応/ アイドリングストップ車対応の場合は、「充電 制御/アイドリングストップ」を選択してください。 通常のバッテリー、または不明の場合は、標準 を選択してください。



- ※④のバッテリーテスト選択画面で産業用を選択した場合は、P19の産業規格値入力選択画面 が表示されます。
- ●ハイブリッド車の補機バッテリーを測定する 場合は、ハイブリッド車用補機を選択し、決定 してください。

テスト方式選択 充電制御/ アイドリングストップ ハイブリッド車用補機 診断モード選択

劣化診断モード

未使用品診断モード

⑥診断モードを選択します。

劣化診断モード:

バッテリーの劣化診断時に選択 未使用品診断モード:

未使用バッテリーの診断時に選択

⑦選択した規格に応じて、次の画面が表示されます。

●バッテリーリストを選択した場合

バッテリーサイズやアイドリングストップ、EN規格 (日本車用)、ハイブリッド車用補機など、グループ 化されているリストを選択し、決定してください。

測定バッテリーの形式を選択し、決定して ください。



※次回テスト時は、前回選択したリストと形式が選択されています。 ※テストバッテリーに記載されている形式が、B24、D31などバッテリーのサイズのみの場合、 そのバッテリーが交換可能と示されている最大スペックのJIS形式を選択してください。

●EN(DIN)規格、SAE(BCI)規格、 CCA入力を選択した場合	EN(DIN)規格値入力
規格値を入力し決定してください。バッテリー テストが実行されます。	→ 1400 CCA
月規格値を入力	⊲キー テスト実行

※次回テスト時は、それぞれ前回入力した規格値が入力されています。

●産業用を選択した場合

産業規格値を入力する場合は"入力する"を、 入力しない場合は"入力しない"を選択し、決定 してください。

"入力しない"を選択するとバッテリーテストが 実行されます。

※"入力しない"を選択した場合、バッテリー の良否判定は行いません。



 ●産業用バッテリーをテストする際は、バッテリーに接続されている負荷 や充電器を外し、バッテリー単体でテストを行ってください。正確な 診断が行えません。
 ●テスト可能な産業用バッテリーは12V鉛バッテリーです。
 ●本製品の産業用バッテリー判定は、産業用電池では一般にバッテリー 内部抵抗が新品時の2倍になると要交換と判断することから、測定結果 が入力基準値の2倍となったときに要交換判定としていますが、正確な 良否判定のしきい値は、バッテリーメーカー、種類等により異なるため、 交換判断の参考としてください。



※バッテリーの取扱説明書または本体に新品時の内部抵抗が記載されている場合は、その 抵抗値を入力してください。記載が無い場合は、バッテリー新品(満充電)時に"入力しない" でテストを実行し、測定された内部抵抗値を記録してください。以降のテストの際は、記録 した内部抵抗値を入力してください。

※次回テスト時は、前回入力したmΩ値が入力されています。

※温度入力設定が手動の場合

(P54 "8. 温度入力設定" 参照)

右記のバッテリー温度入力画面が表示されますの で、バッテリーの温度を入力し、決定してください。 ※温度はバッテリーの液温または①端子の温度

を入力してください。

- ※次回テスト時は、前回入力した温度が入力 されています。
- ⑧バッテリーテスト実行中は右記の画面が表示 されます。





⑨バッテリーテストが完了すると、右記のテスト 結果画面が表示されます。

△▽(上・下スクロール)キーを押してテスト 結果を確認してください。

テスト結果に応じてLEDランプが点灯・点滅します。

- ・良好の場合は緑色LEDランプが点灯。
- ・良好/要充電の場合は緑色と黄色LEDランプが点灯。
- ・要充電/再テストの場合は黄色LEDランプが点灯。
- ・要注意の場合は赤色LEDランプが点滅。
- ・交換の場合は赤色LEDランプが点灯。

※表示されるテスト結果は下記の通りです。

- ・バッテリーテストの結果
- ・選択バッテリー規格
- ・形式(バッテリーリストから選択時) ・温度
- ・健全性(SOH)
- ・お気に入り名(お気に入りリストから選択してテスト実行時)



- ・CCA入力値(産業用は基準mΩ) ・バッテリー電圧値
- ・CCA測定値(産業用は測定mΩ)
- ・診断モード・テスト方式
- ・コメント

・充電量(SOC)

● ⅢMENU (メニュー) キー:メニュー画面へ移行 (P46参照)

◆FAVORITS(お気に入り)キー:バッテリー形式/入力規格値をお気に入り登録(P41参照)
 ● ■PRINT(プリント)キー:プリント画面へ移行(P27参照)

※産業用規格値を入力しなかった場合、バッテリーの良否判定は行いません。

- ※標準よりもグレードの高いバッテリーを搭載している車両では、判定結果が"交換" でもエンジン始動に問題が生じていない場合があります。この場合でも、バッテリー 単体においては劣化が進んでいますので、早めの交換を推奨いたします。
- ※バッテリー製造時の充電後から長期間放置された新品バッテリーは、新品バッテリーで あっても自己放電等によりCCA値が低下し、本製品の判定結果が交換判定になる可能性 があります。バッテリーは放電した状態が長期間続くと劣化していくため、充電電圧が 低下した状態で長期間放置されないように補充電を行って管理してください。

⑩ ◀ (決定) キーを押すと右記の画面が表示されます。

"はい"を選択し決定すると、P16③のテスト 選択画面に戻ります。



▲ 注意 ●バッテリー端子からバッテリークリップを外す際には、無理に引っ 張らないで外してください。断線など故障の原因となります。

※バッテリークリップを外した後に再接続する際は、本体内部の電荷が一度放電されるまで 数秒間経ってから接続してください。

- ※右記の画面が表示された場合、次の点検を 行ってください。
- ①正しくクリップできているか
- クリップの鋸歯部で、バッテリー端子をしっかり と挟み込んでいること。
- ●クリップ鋸歯部の両極が、バッテリー端子に 接触していること。
- クリップ鋸歯部の片方が、絶縁された面など に接触していないこと。
- ②バッテリーの点検

端子に汚れ・異常はないか、ターミナルに 異常はないか等。

- ③本製品の点検
 - バッテリークリップの金属端子部分に汚れ はないか、ケーブルに異常はないか。
- ※上記の点検を行った後に再度測定を行い、何度測定し直しても測定エラーになる場合は バッテリーに異常がある可能性があります。別のバッテリーを複数個測定しても測定 エラーになる場合は、販売店に修理依頼をしてください。

右記の画面が表示された場合、バッテリー ケーブルが断線しているため、直ちに測定を 中止し、バッテリーケーブルを新品のケーブル へ交換してください。

※P58 "3. バッテリーケーブルの交換"参照

測定エラー

電源を切り、点検を 行ってから再度測定 をしてください。

測定エラー バッテリーケーブル が断線しています。 交換をしてください。

ます。

エンジン始動能力(バッテリーがエンジンを始動する能力)、チャージングシステム (オルタネーターの発電状態)をテストします。

①本体とバッテリーを接続します。
 (P15①~P16②参照)
 右記の画面が表示されますので、システムテストを選択し、決定します。
 ※画面には接続バッテリーの電圧値が表示され



接続バッテリーの電圧値

②右記の画面が表示されますので、12Vシステム テストまたは24Vシステムテストを選択し、 決定します。



③右記の画面が表示されますので、画面の指示 に従って↓(決定)キーを押します。

バッテリーシステムテスト

エアコン等、電気負荷の スイッチをオフにして ください。 ��

④下記の画面が表示されますので、エンジンを始動してください。



⑤測定中は下記の画面が表示されますので、しばらくお待ちください。(最大約30秒間)



12Vシステムの場合



24Vシステムの場合





※測定値が13V未満の場合は、チャージングシステムテスト画面が表示される前に下記の画面が 表示されます。測定車両が充電制御車でオルタネーターの発電が制御されている可能性が ありますので、画面の指示に従ってバッテリーに電気負荷をかけてください。

※24Vシステムテストの場合は、2倍の26V未満で表示されます。







⑦システムテストが完了すると、右記のテスト 結果画面が表示されます。

△▽(上・下スクロール)キーを押してテスト 結果を確認してください。

テスト結果に応じて下記の様にLEDランプが点灯・ 点滅します。

- ・全て良好の場合は緑色LEDランプが点灯。
- ・エンジン始動能力が始動能力低下の場合は 赤色LEDランプが点滅。
- ・チャージングシステムが不良の場合(エンジン 始動能力も始動能力低下の場合を含む)は 赤色LEDランプが点灯。

※表示されるテスト結果は下記の通りです。

- ・エンジン始動能力テストの結果
- ・始動電圧(スターター動作時の最低バッテリー電圧)
- ・始動能力(バッテリーがエンジンを始動する能力)
- ・チャージングシステムテストの結果
- ・充電電圧(始動後、充電時のバッテリー電圧)
- ・リップル電圧(ダイオードのリップル電圧)
- ・コメント



- **Ⅲ** MENU (メニュー) キー:メニュー画面へ移行 (P46参照)
- **■PRINT**(プリント)キー:プリント画面へ移行(P27参照)
- ※本製品の動作電源電圧および電圧測定はDC8Vからですが、エンジン始動能力テストの際、バッテリー電圧が8V以下になる場合があります。しかし、一瞬の電圧低下の場合は、測定および本製品の動作は正常に行われます。
- ※始動能力の低下などでクランキング時間が長くなり、バッテリー電圧が著しく低下して しまうと、本体の電源がOFFになります。
- ※エンジン始動能力テストは、セルスターターの良否をテストするものではありません。
 ※診断結果が"始動能力0%"となった場合、診断バッテリーがエンジンを始動する力が 限りなく低いことを示しています。エンジンが始動する確率ではありません。

⑧システムテスト結果画面で決定キーを押すと、 右記の終了選択画面が表示されます。 はいを選択し決定すると、P23①のテスト選択 画面に戻ります。

終了しますか? はい いいえ

▲ 注意 ●バッテリー端子からバッテリークリップを外す際には、無理に引っ 張らないで外してください。断線など故障の原因となります。

※バッテリークリップを外した後に再接続する際は、本体内部の電荷が一度放電されるまで 数秒間経ってから接続してください。

バッテリーテスト、システムテストの結果をプリントアウトできます。

- ※テスト結果が「交換(セル不良)」のバッテリーでプリントアウトすると、印字が不明瞭で あったり、本体の動作が不安定になる場合があります。この場合、テスト結果を保存し (P46 "1.データ保存"参照)、正常なバッテリーまたはPCから出力(P44 "PC接続"参照) してください。
- P20⑨バッテリーテスト結果画面または、P25
 ジシステムテスト結果画面で PRINT (プリント)キーを押してください。右記のプリント 確認画面が表示されます。

そのままプリントを選択し決定すると、情報 を入力せずに本体上部のプリンターから出力 されます。

情報を入力してプリントを選択し決定すると、 ②の情報入力画面が表示されます。

- ※連続印刷で印字が濃くなった場合、しばらく印刷 を止め、プリンターヘッドを冷やしてください。
- ②情報を入力してプリントする場合は、下記の操作 で入力します。
 - △▽(上下スクロール)キー――選択
 - ← (決定) キー ―――― 決定

 - ★FAVORITS(お気に入り)キー 入力切替 (英大文字 → 英小文字 → 数字 →
 - 記号 →単位 → 英大文字に戻る)
 - ⇒(戻る)キー────削除
 - ★FAVORITS(お気に入り)キー(長押し) 全削除
 ↓ (決定)キー(長押し) 戻る
- ③ **■**PRINT(プリント)キーを押すと、右記の確認 画面になります。はいを選択し決定すると、本体 上部のプリンターから出力されます。
- ※右記画面で決定すると、入力したテキストが 次回入力時に反映されます。

プリントしますか? そのままプリント 情報を入力してプリント いいえ





※プリンターヘッドが高温になると右記の警告 画面が表示されプリントできなくなります。 一定温度まで冷却されるとプリント可能となり ますので、しばらく放置してください。

- ※プリント中は右記の画面が表示されます。プリ ント終了後はテスト結果画面に戻ります。
- ※プリンターカバーが開いた状態では、正常な 印字動作が行えません。
- ※紙詰まりが起こると正常な印字動作ができ ません。プリンターカバーを開き、用紙を引き 出して再度プリントしてください。
- ※プリンター用紙の残りが少ない、または入っていない場合、右記の画面が表示されます。 P55 "1. プリンター用紙のセット"を参照し、新しいプリンター用紙をセットしてください。
- ※プリンター用紙の残りが少ない状態でも、 センサーの誤認識で右記の表示がされない 場合があります。
- ※当社純正のプリンター用紙(部品番号:851)を 使用してください。印字不良や故障の原因と なります。







プリント例

※保存データをプリントアウトする場合は、現在の設定言語でプリントアウトされます。 (例:現在の設定が英語の場合、日本語で保存したデータは英語でプリントアウトされます。)

■バッテリーテスト



テストレポートの上下にヘッダーとフッターを作成し、印刷することができます。 (P31 "ヘッダー/フッター作成機能"参照)

■システムテスト

XXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	入力情報 (情報を入力してプリントした場合のみ)
システムテストレポート	
	店舗名、担当者名記入欄
担当者	
テスト日時 2022/03/15 15:00 •	テスト日時
<12Vシステム> •	12V/24Vシステム
<u>エンジン始動能力テスト</u> テスト結果:良好・ 始動電圧8.619V 始動能力100%	エンジン始動能力テストの判定結果
チャージングシステムテスト テスト結果:良好・	―――チャージングシステムテストの判定結果
充電電圧14.523V リップル電圧0.110V	
定期的に診断してください。	――― 結果に対するコメント

テストレポートの上下にヘッダーとフッターを作成し、印刷することができます。 (P31 "ヘッダー/フッター作成機能"参照)

テストレポートの上下にヘッダーとフッターを作成し、印刷することができます。 ※PCとインターネットの環境が必要です。



1. ヘッダー/フッター追加アプリケーションのダウンロード

ヘッダー/フッター追加アプリケーションの使用に起因、または関連して生じたいかなる 損害および問題、紛争について、カイセ株式会社は一切の責任を負わないものとします。

①PCで下記のSK-8551ユーザー専用ページにアクセスします。

SK-8551ユーザー専用ページURL https://www.kaise.com/sk8551ex/j_car_sk8551ex.html



カイセ株式会社トップページ (https://www.kaise.com) から、製品情報をプルダウン → 自動車 用テスターをクリック → バッテリーチェッカーSK-8551をクリック → ユーザー専用をクリック でもアクセスできます。

②ユーザー名とパスワードを入力します。

※ユーザー名とパスワードは製品付属の取扱説明書に記載しています。

ホームページ閲覧用取扱説明書には記載していません。

ログイン https://www	w.kaise.com	
ユーザー名		┏━━━━ ユーザー名を入力
パスワード		┏━━━━ パスワードを入力
	ログイン キャンセル	

※ユーザー名とパスワードのアルファベットは大文字/小文字を認識します。 正しく入力してください。

※上記認証画面はブラウザによって異なります。

③ユーザー専用ページが表示されましたら、ヘッダーとフッターを本体ヘインストールする ためのソフト「ヘッダー/フッター追加アプリケーション」をダウンロードします。下図の ダウンロードをクリックしてください。



④ダウンロードのウィンドウが表示されますので、保存をクリックしてください。※下図のウィンドウはブラウザによって異なります。

名前を付けて保存				×	
← → • ↑ 🔳 > PC	› デスクトップ ›	▼ ひ アデ	スクトップの検索		
整理 ▼ 新しいフォルダー				0	
 ★ クイック アクセス ▲ Creative Cloud Files ▲ OneDrive ■ PC ▲ ホットワーク 	名前	~		更新日時	
ファイル名(N): Heade ファイルの理頻(T): Compre	<pre>rFooterEditor_VER100.zip essed (zipped) Folder (*.zip)</pre>			> ~ ~	
▲ ノォルダーの非表示		保持	F(S)	· tu	ー 保存をクリック

⑤ダウンロードしたZIPフォルダ (HeaderFooterEditor_VERXXX)を開いて、中のフォ ルダ (HeaderFooterEditor_VERXXX)をデスクトップにコピーしてください。

IIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIII	展開	- 🗆	×	
ファイル ホーム 共有 表示 圧縮	ォルダー ツール		~ 0	
\leftrightarrow \rightarrow \checkmark \uparrow \blacksquare > HeaderFooterEditor	ٽ ~	р Р He	aderF	
♪ クイック アクセス				
OneDrive				
PC PC or_VER100	dit			
💣 ネットワーク				+ テメクトッノ ヘコヒー
1 個の項目 1 個の項目を選択			:::	

⑥以上でヘッダー/フッター追加アプリケーションのダウンロードは完了です。デスクトップ にコピーしたフォルダ (HeaderFooterEditor_VERXXX) は大切に保管してください。

2. 定型画像のダウンロード

①ユーザー専用ページにアクセスし、下図の定型画像 "バッテリー交換¥1,000引き" をクリック します。

※ひとつのグループを一括ダウンロードすることも可能です。



②ダウンロードのウィンドウが表示されますので、保存をクリックしてください。 ※下図のウィンドウはブラウザによって異なります。

④ 名前を付けて保存					×	
← → • ↑ 🔳 > PC > 7	スクトップ 〜	ō	,0 デスクトップの検索			
整理▼ 新しいフォルダー			R=	÷ •	0	
	名前	0		更	新日時	
ファイル名(N): bc_hf_001_1 ファイルの種類(T): Compressed	< 000.zip I (zipped) Folder (*.zip)				`	
▲ フォルダーの非表示		[保存(S)	**> ₽₩		— 保存をクリッ

③ダウンロードしたZIPフォルダ (bc_hf_001_1000)を開いて、中のBMPファイルをP33で ダウンロードしたHeaderFooterEditor_VERXXXフォルダ内のImageフォルダに コピーしてください。



ダウンロードした定型画像データや、オリジナル作成した画像データは 上記Imageフォルダ内に入れて管理してください。

3. ヘッダー/フッターの登録

①本体とPCをUSB接続します。(P44参照)

※本体をPCと接続しないと、ヘッダー/フッター追加アプリケーションは起動しません。

②P33でダウンロードしたHeaderFooterEditor_VERXXXフォルダを開いて、中の HeaderFooterEditorファイルをダブルクリックします。



ヘッダー/フッター追加アプリケーションフォルダ

③ソフトウェア使用許諾契約書ウィンドウが表示されます。利用規約に同意いただける場合は "同意する"をクリックしてください。

※同意いただけない場合は、本ソフトウェアの使用はできません。

1	₩■ 利用規約	-		×]
	ソフトウェア使用許諾契約書 下記の使用許諾契約書(以下本契約書と言います。)をよくお読みください。 カイセ林式会社(以下カイセを言います。)の製品(以下カイセ製品と言います。)の 客様(以下る学校を言います。)の製品(以下カイセ製品と言います。)の 等様(以下る学校を言います。)の な契約書とはく用せれるに、のドッテーション・ うっつ等を含み、代せて以 フレ言います。)をご使用(になるとめの)・為客様にかイセとの間の契約書です。 お客様(は、「本ンフトウェア」起動時(ご同意)を広って、本契約書に同意)したことになります。 お客様(か本契約書に同意)できない場合、「本ンフトウェア」を使用することはできま 知った。****	D利用者 - ヘッダ !下「本) は「本ン :せん。	≦であるお −/フッ ノフトウェ		同音するたクロック
	アンボーロはの (1) かイセは、お客様が「カイセ製品」を利用する目的のために、「カイセ製品」に直接 を通じ接続される複数のコレビューターにおいて、「本ソフトウェア」を使用(本契約書 リアトウェア」をコンピューターの記憶要様とにインストーが考えた、またはコンピュータ すること、アウレスオること、もいくは実行することのいずれも含むものとします。) するた 利息お客様に対して許能します。 (2) 上記(1)に定める場合を除き、カイセのいかなる知道)財産権も、明示たると黙示/ 本契約書によってお客様に譲渡あるいは許能されるものではありません。 同意する。	または: れにおい ューにお(めの非り たるとを	ネットワーク では、「本 いて表示 虫占的権 問わず、	~	—————————————————————————————————————



④ヘッダー/フッター追加アプリケーションが起動します。



⑤P31の例と同様に画像を登録し、文字を入力します。



⑥作成したデータを保存します。

②画面左下のデータ転送をクリックし、画面の指示に従い本体にデータを転送します。
 ⑧転送が完了したら画面の指示に従い、本体とPCの接続を一旦解除し再接続します。
 ⑨本体の画面に "USB接続中…"と表示したら完了です。本体とPCの接続を解除してください。
 ※USBポートにデータコピーなどの制限がかけられている場合、正常に転送が行えません。

4. ヘッダー/フッター設定

本体でヘッダー/フッターの設定をします。

- ①本体をバッテリーに接続し、本体の電源をON にします。
- ②テスト選択画面が表示されたら、 Ш MENU (メニュー)キーを押してください。右記のメニ ュー画面が表示されます。ヘッダー/フッター 設定を選択し、決定してください。

2022/03/15 15:00 〈 MENU 〉 保存データ表示 保存データ削除 ヘッダー/フッター設定

③下記のヘッダー/フッター設定画面が表示されます。バッテリーテストとシステムテストそれ ぞれでプリントした際の設定が表示されます。

今回はバッテリーテストのヘッダー/フッターを設定しますので、バッテリーテストを選択し、 決定します。



- 標:標準(初期画像が印刷されます)
- 無: 無し(印刷されません)
- 1:パターン①(パターン①が印刷されます)
- 2:パターン②(パターン②が印刷されます)
- 3:パターン③(パターン③が印刷されます)
- 4:パターン④(パターン④が印刷されます)
- 5:パターン⑤(パターン⑤が印刷されます)
- **テ**:テスト結果(テスト結果別にフッター設定をしたパターンが印刷されます)(P40参照) ※テスト結果はバッテリーテストのみ

パターンの登録は、ヘッダー/フッター追加アプリケーションのヘルプをご参照ください。

ワンポイント!

例えば、パターン①~⑤に異なる担当者名を登録すれば、設定ひとつでプリントされる 担当者名を変更できます。(パターン名の変更可能)

④ヘッダー設定画面が表示されますので、P37で 登録したパターンを選択し、決定します。

現在設定されている項目に _____、

⑤フッター設定画面が表示されますので、P37で 登録したパターンを選択し、決定します。



バッテリーテスト

1:パターン(1)

なし

▶標進

ヘッダー設定 ▲▼

⑥下記のヘッダー/フッター設定画面に戻ります。バッテリーテストのヘッダー/フッター設定が、選択したパターンに変更されていることを確認します。 必要に応じてシステムテストの設定も同様に行います。

ヘッダー/フッター設定 バッテリーテスト 1 1 < 選択したパターンに変更されている システムテスト 標 無 PRINT+-: テスト

⑦以上でヘッダー/フッター設定は終了です。バッテリーテストを実行し、プリントアウト(P27 参照)した際に、ヘッダーとフッターが正しくプリントされることを確認してください。 ※ **③** PRINT (プリント)キーを押すとテストプリントできます。

5. テスト結果別フッター設定

テスト結果別にプリントするフッターを設定することができます。(最大5パターン) ※ヘッダーのテスト結果別設定はできません。 ※システムテストでは設定できません。

①P39⑤バッテリーテストのフッター設定画面で テスト結果を選択し、決定してください。



②右記のテスト結果別フッター設定画面が表示 されます。テスト結果を選択し決定すると、右側 が点滅しますので、設定したいパターンを選択 します(決定すると点滅停止)。一番下の終了 を選択し決定すると、設定を終了します。

■テスト結果名	
良好:良好	注意:要注意
良充:良好/要充電	交換:交換
充再:要充電/再テスト	



ワンポイント!

テスト結果が良好であるにもかかわらず、バッテリー交換¥1,000引きクーポンを付けても 販促効果はありません。下記例のようにテスト結果に適したクーポンを設定しましょう。





お気に入り登録機能

頻繁に使用する車両のバッテリー形式を本体に "お気に入り" として登録可能です。バッテリー 形式を選択する際に、スイッチひとつでお気に入りリストから選択できます。

1. お気に入り登録

- P20 ⑨ バッテリーテスト結果画面で、 ★FAVORITS(お気に入り)キーを押すと、右記の画面が表示されます。
 - はいを選択し決定すると、②の画面が表示 されます。
- ※お気に入りリスト(P42参照)から選択して バッテリーテストをした場合、右記画面は表示 されません。
- ②お気に入り登録名は変更可能です。登録名を変更する場合は、下記のキー操作で変更します。
 △▽(上下スクロール)キー 選択
 ④(決定)キー 決定
 ① MENU(メニュー)キー スペース
 ★ FAVORITS(お気に入り)キー 入力切替(英大文字 → 英小文字 → 数字 → 記号 →単位 → 英大文字に戻る)
 Э(戻る)キー 削除
 PRINT(プリント)キー ※7
- ③ **■** PRINT (プリント) キーを押すと右記の確認 画面が表示されます。 はいを選択し決定すると、お気に入り登録が

はいを選択し決定すると、お気に入り豆球が 完了します。

※お気に入りは最大50件登録可能です。

★お気に入り に追加しますか? はい いいえ





お気に入り登録機能

ワンポイント!

輸入車や産業用バッテリーは、規格値(CCA/mΩ)を登録することで、次回測定時に 規格値を入力することなく測定できます。

※下記の例では、登録名をわかりやすい名称に変更しています。



2. お気に入りリストから選択

- ①P16③のテスト選択画面で、★FAVORITS (お気に入り)キーを押すと、お気に入りリスト 画面が表示されます。
- ※お気に入り登録がない場合は、"お気に入り 登録なし"と表示されます。
- ②お気に入り名を選択し決定すると、登録した際のバッテリー規格が適用され、テスト方式 選択画面に移行します。
- ※バッテリーリストからテストを実行し、お気に 入り登録を行った場合、テスト実行時に決定 されたテスト方式が適用され、診断モード選択 画面へ移行します。





お気に入り登録機能

3. お気に入りメニュー

 む気に入りリスト画面で
 m MENU(メニュー)
 キーを押すと、右記のお気に入りメニュー画面 が表示されます。

②削除を選択し決定すると、お気に入りリスト画面 で選択していた項目を削除できます。

★お気に入り $\langle MENU \rangle$ 削除 名称変更 並び替え



③名称変更を選択し決定すると、右記の画面が 表示され、お気に入りリスト画面で選択していた 項目の名称変更ができます。 (P41(2)参照)

 ④並び替えを選択し決定すると、右記の画面が 表示され、お気に入りリストの並び順を変更 できます。
 並び替えたい順番に選択し、決定してください。
 全ての項目の順番を決定すると、並び替えが 実行されてお気に入りリスト画面に戻ります。

60B24 ▲▼:選択 <型:決定 MENU: スペース ★:入力切替(英大字) ⇒:削除 PRINT:終了



付属のUSBケーブルでPCと接続し、保存データをテキストデータとして利用できます。 ①本体右側面のUSB端子に、付属のUSBケーブルを差し込んでPCと接続します。



- ②電源がON状態のPCと接続すると本体の電源が 自動でONになり、右記の画面が表示されます。
- ※PCとの接続が完了すると、大容量記憶装置 デバイス(kaise SK-8551 USB Device)として 認識されます。
- ※本製品がPCに認識されない場合は、他の USBポートや市販のUSBハブを使用すること で認識される場合があります。



※認識に時間がかかる場合があります。

▲ 注意 ●USBケーブルを抜く際は、PC側からUSBの取り外しを指示して から抜いてください。故障の原因となります。

※USBケーブルを抜いた後に再接続する際は、本体内部の電荷が一度放電されるまで数秒間 経ってから接続してください。

PC接続

③PC側からの操作で本体のメモリーにアクセスし、データをPCに保存します。データは テキストファイルですのでPCから印刷できます。



※データ保存時の設定言語で表示されます。

④USBケーブルを抜く際は、PC側からの操作でUSBの取り外しを指示してから抜いてください。

※USBケーブルを抜いた後に再接続する際は、本体内部の電荷が一度放電されるまで数秒間 経ってから接続してください。

※Windows は、Microsoft Corporation の登録商標です。

メニュー

1. データ保存

バッテリーテスト、システムテストの結果を、最大359件本体に保存できます。 ※保存データのファイル名は下記の様になります。

■ファイル名の例(2022年3月15日、同日中3回目の保存の場合)



※本体の日時が正しく設定されていない場合、診断日時が正しく保存されません。P52 "5. 日付/時間の設定"を参照し、日時を正しく設定してください。

 P20⑨バッテリーテスト結果画面または、 P25⑦システムテスト結果画面で **①** MENU (メニュー)キーを押してください。右記の メニュー画面が表示されます。 データ保存を選択し、決定してください。

②右記のデータ保存画面が表示されます。
 そのまま保存を選択し決定すると、情報を入力せずにデータ保存が完了します。
 情報を入力して保存を選択し決定すると、③の
 情報入力画面が表示されます。





メニュー

③情報を入力して保存する場合は、下記の操作で 入力します。

△▽(上下スクロール)キー	——選択
◀(決定)キー	——決定
凹 MENU (メニュー) キー	ースペース
★FAVORITS(お気に入り)キー ――	入力切替
(英大文字 → 英小文字 → 数字 →	
記号 →単位 → 英大文字に戻る)	
∋(戻る)キー	——削除
★FAVORITS(お気に入り)キー(長押し)-	一全削除
▲(決定)キー(長押し)	―― 戻る

- ③ **■** PRINT (プリント)キーを押すと、右記の確認 画面になります。はいを選択し決定すると、データ 保存が完了します。
 - 入力した情報は、PC接続のテキストデータ 最上部に記載されています。(P45参照)
- ※右記画面で決定すると、入力したテキストが 次回入力時に反映されます。

TOYOTA-Prius ZVW50 No. XX-XX ★:入力切替(英大字) ▲▼:選択 ⊲:決定



- ※保存可能なデータは最大359件です。すでに 359件保存されている場合、右記の画面が表示 されます。P50 "3. 保存データの削除"を参照 し、既存データを削除してください。
- ー警告ー データ保存数が最大 のため、新たにデータ 保存ができません。

—警告—

メモリ容量が足りない

ため、データ保存が

できません。

- ※メモリーの空き容量が足りない場合、右記の 画面が表示されます。P50 "3. 保存データの 削除"を参照し、既存データを削除して空き 容量を増やしてください。
- ※保存ファイル名と同一のファイル名が存在 する場合、右記の画面が表示されます。 P50 "3. 保存データの削除"を参照し、同一
- ファイル名のデータを削除してください。
- ※ファイル名は保存年月日で構成されています。 詳細はP46 "ファイル名の例"を参照ください。 ※保存データの削除は、PCと接続して(P44 "PC接続"を参照)、PC側の操作で削除する ことも可能です。
- ※システムエラーが発生した場合、右記の 画面が表示されます。テストを中止して、 P59 "4. リムーバブルディスクの初期化"を 参照し、リムーバブルディスクを初期化して ください。
- ※リムーバブルディスクを初期化すると、保存 されている全てのデータが消去されます。



システムエラー データ保存が できません。

2. 保存データの表示

保存したデータを画面に表示します。

 P16③テスト選択画面で **m** MENU(メニュー)
 キーを押してください。右記のメニュー画面 が表示されます。

保存データ表示を選択し、決定してください。

②右記の保存データー覧画面が表示されます。 表示したいファイルを選択し、決定してください。 ※保存データがない場合は、"保存データなし" と表示されます。

2022/03/15 15:00 $\langle MENU \rangle$ |保存データ表示| 保存データ削除 ヘッダー/フッター設定



- ③右記の様に保存データが表示されます。△▽ (上・下スクロール)キーを押して保存データを 確認してください。
- ※ **⑤** PRINT (プリント)キーを押すと、表示されて いる保存データをプリントアウトできます。 詳細はP27 "プリントアウト"を参照ください。
- ※画面表示は、現在の設定言語で表示されます。 (例:日本語で保存したデータでも、現在の設定 言語が英語の場合は英語表示となります。)
- ※システムエラーが発生した場合、右記の 画面が表示されます。P59 "4. リムーバブル ディスクの初期化"を参照し、リムーバブル ディスクを初期化してください。
- ※リムーバブルディスクを初期化すると、保存 されている全てのデータが消去されます。





3. 保存データの削除

保存したデータを削除します。

①P16③テスト選択画面およびP20⑨、P25⑦の 各テスト結果画面で ロ MENU (メニュー) キー を押してください。右記のメニュー画面が表示 されます。

保存データ削除を選択し、決定してください。 ※各テスト結果画面からメニュー画面に移行した 際は、右記の画面と異なります。



②右記の保存データー覧画面が表示されます。
 削除したいファイルを選択し、決定してください。
 ※保存データがない場合は、"保存データなし"
 と表示されます。



③右記のデータ削除画面が表示されます。はい を選択し決定すると、データ削除が完了します。



- ※システムエラーが発生した場合、右記の 画面が表示されます。P59 "4. リムーバブル ディスクの初期化"を参照し、リムーバブル ディスクを初期化してください。
- ※リムーバブルディスクを初期化すると、保存 されている全てのデータが消去されます。



メニュー

ヘッダー/フッター設定はP38をご参照ください。

4. テスト回数履歴表示

テスト回数をカウントし本体メモリーに記憶します。

①P16③テスト選択画面およびP20⑨、P25⑦の 各テスト結果画面で M MENU (メニュー) キー を押してください。右記のメニュー画面が表示 されます。

テスト回数履歴表示を選択し、決定してください。



②右記のテスト回数履歴表示画面になります。 履歴削除してから現在までのテスト回数が 表示されます。

テスト回数履歴表示 バッテリーテスト 52 システムテスト 37 ◇リキー長押し:履歴削除

■プリントアウト

テスト回数履歴表示画面で **[** PRINT(プリント) キーを押すと、テスト回数履歴をプリントアウト できます。

テスト回数履歴				
プリント日時 2022/03/15 15:00				
バッテリーテスト―――52回 システムテスト―――37回				

■履歴の削除

↓ (決定) キーを長押しすると、右記の画面になり、 "はい"を選択し決定すると、履歴が削除されます。



5.日付/時間の設定

①P16③テスト選択画面およびP20⑨、P25⑦の 各テスト結果画面で **ロ** MENU(メニュー)キー を押してください。右記のメニュー画面が表示 されます。

日付/時間設定を選択し、決定してください。

②右記の日付/時間設定画面が表示され、年の 表示が点滅します。

③△▽(上・下スクロール)キーで年を合わせて、
 ↓(決定)キーを押すと点滅箇所が月の表示へ
 移動します。月を合わせて↓(決定)キーを
 押すと点滅箇所が日の表示へ移動します。

④同じ要領で分の表示まで合わせて→(決定) キーを押すと秒が0になり、日付/時間設定が 完了し、①のメニュー画面へ戻ります。





年の表示が点滅



↓ (決定) キーを押すと 点滅箇所が移動



メニュー

6. 言語設定

 P16③テスト選択画面で
 m MENU(メニュー) キーを押してください。右記のメニュー画面 が表示されます。
 言語設定を選択し、決定してください。



②右記の言語設定画面が表示されます。 日本語表示の場合は日本語、英語表示の場合 はENGLISHを選択し、決定してください。 言語設定が完了し、①のメニュー画面へ戻り ます。



7. コントラスト設定

①P16③テスト選択画面およびP20⑨、P25⑦の 各テスト結果画面で **ロ** MENU(メニュー)キー を押してください。右記のメニュー画面が表示 されます。

コントラスト設定を選択し、決定してください。 ※各テスト結果画面からメニュー画面に移行した 際は、右記の画面と異なります。

②△▽(上・下スクロール)キーを押すことで、
 LCD表示のコントラストを0~30の31段階で
 調整できます。

↓ (決定) キーを押すとコントラスト設定が 完了し、①のメニュー画面へ戻ります。





メニュー

- 8. 温度入力設定
- バッテリーの温度を手動で入力し、設定する ことができます。
 P16③テスト選択画面で M MENU(メニュー)

キーを押してください。右記のメニュー画面 が表示されます。

温度入力設定を選択し、決定してください。

- ②初期設定は自動入力となっておりますので、 手動入力を選択し、決定してください。 温度入力設定が完了し、①のメニュー画面へ 戻ります。
- ※手動入力にした場合は、バッテリーテスト 実行時にバッテリー温度の入力を行います。 (P20参照)

9. CCA規格値印字設定

 ①プリントアウトの際に、CCA規格値を印字しないように設定することができます。
 P16③テスト選択画面で
 m MENU(メニュー) キーを押してください。右記のメニュー画面が表示されます。
 CCA規格値印字設定を選択し、決定してくだ

さい。

②印字しない設定にする場合は、しないを選択し 決定してください。

CCA規格値印字設定が完了し、①のメニュー 画面へ戻ります。

- ※しないに設定すると、PC接続のテキストデータ (P45参照)にも記載されません。
- ※バッテリーリストからテスト実行したときのみ 有効になります。(バッテリーリストからお気に 入り登録したリストでも同様)









1. プリンター用紙のセット

プリンター用紙の残りが少なくなっている、 または入っていない場合、右記の画面が表示 されます。下記の手順でプリンター用紙をセット してください。

- 1右図のようにプリンターレバーを手前に引き 上げてください。プリンターカバーが浮き 上がります。
- ※必要以上にレバーを引き上げないでください。 破損の原因となります。
- ※プリンターレバー、プリンターカバーに無理な 力を加えないでください。故障および破損の 原因となります。
- ②プリンターカバーを開いて、古いプリンター 用紙が残っている場合は取り除きます。 新しいプリンター用紙を袋から取り出します。
- ③新しいプリンター用紙の端をとめている シールを剥がします。右図のように端を引き 伸ばして、必ず印刷面(巻き内側のつるつる した面)が下になるようにセットします。



プリンターレバー、プリンターカバーに無理な力を加えないでください。故障および破損の原因となります。
 プリンター用紙は必ず印刷面(巻き内側のつるつるした面)が下になるようにセットしてください。逆にセットした場合、印刷できません。

- ④プリンターレバーを下げ、プリンター用紙の 引き伸ばした部分をはさむようにプリンター カバーを閉じます。余分なプリンター用紙を 手前に引くようにして切り取ります。
- ※プリンターカバーを閉じる際は、プリンター カバーの両端を押してください。中央部分を 押すと故障および破損の原因となります。





2. プリンターヘッドのクリーニング

印字回数を重ねるにつれて、プリンターヘッドに少しづつ黒い汚れが付着してしまい、 印字不良が発生することがあります。その際は、下記の方法でプリンターヘッドのクリー ニングを行ってください。

- プリンターカバーを開いて、プリンター用紙を 取り出します。
- ※プリンターカバーの開き方は、P55を参照 ください。



②綿棒にエチルアルコールを浸してプリンター ヘッドの汚れを拭き取ってください。 汚れが取れない場合は、ウエスにエチルアル コールを浸して、少し強めにこすって汚れを 拭き取ってください。

紙検知センサーを清掃する際は、エチル アルコールを使わずに、綿棒で乾拭きして 汚れを取り除いてください。



汚れを拭き取る際、強くこすりすぎるとプリンターヘッドに傷がついてしまい、印字不良の原因となることがありますのでご注意ください。
 汚れを拭き取る際、人体に有毒なメチルアルコールなどを使用しないでください。
 プリンターヘッドに鋭利なものや硬いものを接触させないでください。

3. バッテリーケーブルの交換

バッテリークリップやケーブルが劣化した際、新しいバッテリーケーブル(部品番号:800)を 購入いただくことで簡単に交換できます。

(1)ケーブルコネクター背面のネジをゆるめます。

②コネクター部を持って本体から引き抜きます。

- ネジを ゆるめる
- ③新しいバッテリーケーブルを奥までしっかり
 と差し込んでネジをしめてください。
- ※バッテリーケーブルは本体の奥までしっかりと 差し込み、ネジを固定した状態で使用してくださ い。接触不良の場合、正確な測定ができません。 ※バッテリーケーブルと本体接続部分のプラグや
- 端子を汚さないでください。接触不良の場合、 正確な測定ができません。
- ※バッテリーケーブルを本体に対して逆向きに 接続しないでください。本体およびケーブル 故障の原因となります。
- ※バッテリーケーブルと本体を固定する際、ネジを 強く締めすぎないでください。本体側の固定部 やネジ山が破損し、固定できなくなります。



4. リムーバブルディスクの初期化

▲ 注意
●リムーバブルディスクを初期化すると、保存されている全てのデータが消去されます。

 ① ↓ (決定)キー、★FAVORITS(お気に入り)キー、 ■ PRINT(プリント)キーを押しながら、バッテリー 接続(P15参照)またはPC接続(P44参照)を 行い、本体の電源をONにします。



②右記の画面が表示されますので ↓ (決定) キー を押してください。リムーバブルディスクの 初期化が開始します。

※初期化を行わない場合は、電源をOFFにして ください。

※リムーバブルディスクメモリーにエラーが発生 した場合も右記の画面が表示されますので、 初期化を行ってください。

※初期化中は絶対に電源を切らないでください。

③リムーバブルディスクの初期化が終了すると本体が再起動します。



5. DMPフォルダ

バッテリーテストにおいて測定エラーが発生すると、本体リムーバブルディスク内にDMPフォルダが作成され、エラー発生時の内部データが保存されます。

このDMPフォルダを削除する必要はありません。



6. 定期的点検·校正

安全で正確な測定を維持するためには定期的な点検・校正が必要です。本製品は、通常の 使用で1年以上許容誤差内の精度を維持できるよう製造されていますが、少なくとも1年に 1回は定期的に点検・校正してください。点検・校正は販売店またはカイセ株式会社へご依頼 ください。

7. その他

- ●バッテリークリップの金属端子が汚れた場合、やわらかい布でふき取ってください。 汚れが付いている状態では正確な測定ができない場合があります。
- ●本体内に日付/時間設定のバックアップ用電池が内蔵されています。この内蔵バックアップ 電池は消耗品となります。日付/時間設定を行っても、設定が保存されない場合は内蔵 バックアップ電池が消耗していますので、販売店またはカイセ株式会社へ修理依頼して ください。

校正・修理のお問い合わせ、送付先				
	カイセ株式会社			
	製造サービス課			
	〒386-0156 長野県上田市林之郷422			
	TEL(0268)35-1602 / FAX(0268)35-5515			
	Email : service@kaise.com			

故障かな?という場合に

故障かな?という場合には、以下の症状、原因と処置をご参照ください。 本製品について、わからない点やご質問、故障の場合は、お買い上げの販売店または カイセ株式会社製造サービス課(前頁参照)にお問い合わせください。



故障かな?という場合に



品質保証規定

品質保証規定

品質保証期間中に説明書に則った正しい使用状態において、万一故障が生じた 場合には、無償で修理いたします。ただし、下記事項に該当する故障・破損は 無償修理の対象から除外し、有償修理となります。

記

1. 取扱説明書に基づかない不適当な取り扱い、または使用による故障。

2. カイセ特約サービス代理店、または当社サービス部門以外でなされた修理 または改造に起因する故障。

3.お買い上げ後の輸送または落下等によって生じた故障。

4. 火災、水害、地震等天災地変によって生じた故障・破損。

5. 消耗部品(プリンター用紙、バッテリーケーブルなど)の補充または交換。

6. 品質保証書の提出がない場合。

~キリトリ

7. その他、当社の責任とみなされない故障。

8. 本証明書は日本国内においてのみ有効です。

修理依頼	年	月	日	
故障の症状 故障の原因(わかったら)				

品質保証書

MODEL SK-8551		Serial No.		
品質保証期間 購入日		年	月	日から1カ年
販売代理店および所在地				
				印

※品質保証期間中に正常な使用状態で、万一故障などが生じた場合は、裏面 記載の品質保証規定により無償で修理いたします。製品にこの品質保証書 を添えて、上記販売代理店、または直接カイセ株式会社製造サービス課へ ご送付ください。

シキリトリ

※購入年月日は販売代理店が記入します。販売代理店名およびその押印なき 品質保証書は無効となりますので、購入時に確認してください。



〒386-0156 長野県上田市林之郷422 電話 0268-35-1600(代表)

ホームページのご案内

1. SK-8551製品情報ページ

製品情報の閲覧や製品カタログ(PDF)、取扱説明書(PDF)、テクニカルガイドブック(PDF)、 技術資料(PDF)などのダウンロード/印刷が可能です。

SK-8551製品情報ページURL https://www.kaise.com/j_car_sk8551.html



カイセトップページ (https://www.kaise.com) から、製品情報をプルダウン → 自動車用テスタ ーをクリック → バッテリーチェッカーSK-8551をクリックでもアクセスできます。

2. SK-8551ユーザー専用ページ

ヘッダー/フッター追加アプリケーションや定型画像のダウンロードができます。

SK-8551ユーザー専用ページURL https://www.kaise.com/sk8551ex/j car sk8551ex.html



SK-8551製品情報ページ → ユーザー専用をクリックでもアクセスできます。

3. バージョンアップ情報

データベースなどのバージョンアップファイルをダウンロードすることができます。新しいバージョンが公開されている場合は、手順を良くご確認のうえバージョンアップを実行してください。

SK-8551バージョンアップ情報ページURL https://www.kaise.com/j_car_sk8551_verup.html



SK-8551製品情報ページ → バージョンアップ情報はこちらをクリックでもアクセスできます。

4. ユーザー登録

ユーザー登録していただくことで、バージョンアップなどのサポート情報および新製品情報などをEメールにて配信いたします。

ユーザー登録ページ URL

下記にアクセスし、"SK-8551バッテリーチェッカー"をクリック https://www.kaise.com/j_user.html



SK-8551製品情報ページ → ユーザー登録をクリックでもアクセスできます。

www.kaise.com



カイセ株式会社

■製品・修理に関するお問い合わせ… 製造サービス課:TEL 0268-35-1602 FAX 0268-35-5515

〒386-0156 長野県上田市林之郷422 TEL 0268-35-1600(代) FAX 0268-35-1603 E-mail service@kaise.com

 ヘッダー/フッター追加アプリケーションの使用や、お気に入り登録名称・情報入力機能の入力内容に起因、または 関連して生じたいかなる損害および問題、紛争について、カイセ株式会社は一切の責任を負わないものとします。
 ●バッテリーリストに登録されている各バッテリー形式のCCA基準値は、本製品の仕様に合わせた値となっています。
 各バッテリーメーカーが公開、またはバッテリーに表示されているCCA値とは異なる場合があります。

●本製品におけるテスト結果において、バッテリーメーカーの製品保証対象となるものではありません。

